

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-222	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	コⅡ・340	Revised POLESTAR English Communication II		

<h2>1. 編修の基本方針</h2> <p>編修の基本方針として、「英文を読んでその内容を自分の言葉で説明し、最終的に自分の意見を発信できるようにすることを目指す教科書にする」ことを目標にしている。それを達成するために、以下の点に留意した。</p> <p>(1) 題材については、読んだ後で生徒自身が考え、自分に何ができるかを表現し、グローバルに活躍するための発信力及び豊かな人間性、創造性の養成を目指すものとした。</p> <p>(2) 説明や物語などを読んで要点を理解するだけでなく、それを読んで自分はどう思ったのかを表現させる機会を設けるため、基本レッスンは「本文＋会話文」の二部構成にした。</p> <p>(3) 授業中にコミュニケーション活動や英語による発話の機会が十分取れるように、Lesson 1-10に関しては各PartごとにSay It in Your Own Words（英語で本文の内容を説明する設問）、また適宜ペアワークができる設問を掲載した。その他の頁（Optional Lesson, Reading, Real-World English）でも、ペアワークができる設問を掲載している。</p> <p>(4) 英語による授業を円滑に進められるように、問題指示文等は英語を使用した。</p> <p>上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。</p>

<h2>2. 対照表</h2>		
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Topics from All Around the World 後見返し English Quotes	<ul style="list-style-type: none"> ・各課で扱う題材に関連する国を写真と地図で記した。(第1号) ・様々な分野の偉人の言葉を英語で掲載した。(第3号) 	前見返しⅠ・Ⅱ 後見返しⅢ・Ⅳ 写真全般
Lesson 1～10	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。(第1号) ・平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号) ・海外から見た日本についての話を読むことで、日本の伝統と文化を尊重する態度を養い、さらに世界に目を向けることの大切さを意識させる。(第5号) 	全般 Lesson 1 (5～18頁)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに関する英文を読み、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号) ・日本で始まった「Table for Two」の活動について読むことにより、世界における食の不均衡の問題について学ぶとともに、社会に貢献する意識をもてるよう配慮した。(第3号) ・エルトゥールル号に関する英文を読み、他国を尊重し協力することの大切さを学び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号) ・ロケット開発に挑戦し成功させた人物に関する英文を読み、個人の価値を尊重し、創造性を養い、将来の職業について考える機会をもてるよう配慮した。(第2号) ・ブラジルのクリティバ市で行われた政策についての英文を読むことにより、環境問題についての意識を高められるよう配慮した。(第4号) ・英語の落語に関する英文を読み、日本の伝統と文化を尊重する意識を養う。(第5号) ・ネルソン・マンデラとラグビー・ワールドカップに関する英文を読み、人種問題やスポーツの力について考える機会をもてるよう配慮した。(第3号) ・シンガポールの水問題と再生水「NEWater」についての英文を読み、環境や資源についての意識を高めるよう配慮した。(第4号) ・デザインにおけるシンプルな美についての英文を読み、伝統と文化を尊重する態度を養う。(第5号) 	<p>Lesson 2 (19～32頁)</p> <p>Lesson 3 (35～48頁)</p> <p>Lesson 4 (49～62頁)</p> <p>Lesson 5 (65～78頁)</p> <p>Lesson 6 (79～92頁)</p> <p>Lesson 7 (95～108頁)</p> <p>Lesson 8 (109～122頁)</p> <p>Lesson 9 (125～138頁)</p> <p>Lesson 10 (139～152頁)</p>
Optional Lesson	<ul style="list-style-type: none"> ・「5ドルと2時間でいかに多くのお金を作るか」というスタンフォード大学の講義に関する英文を読み、職業や生活における創造性を培うよう配慮した。(第2号) 	156～163頁
Reading	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの学校生活を扱ったGary Sotoの小説を読み、幅広い知識と教養を身に付けることを目指した。(第1号) 	164～173頁
Real-World English 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のニュース記事の形式の英文を読むことで、幅広い知識と教養を身に付けることを目指した。(第1号) 	174～179頁
Sound Square	<ul style="list-style-type: none"> ・発音に関する解説と練習のための設問を用意し、発音に関する正しい知識を習得しつつ実践していくことを目指した。(第1号) 	180～185頁
<ul style="list-style-type: none"> ・ Communication Strategies ・ Expressions for Communication Strategies 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションの場面で使用する機能表現を体系立てて学べるように配慮した。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18, 32, 48, 62, 78, 92, 108, 122, 138, 152頁 ・ 186～187頁

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

- (1) コミュニケーションで役立つ機能表現を学び、自ら発話しようとする態度を養成するための設問や会話文等を全編に渡り掲載した。
- (2) 自分はどう思うかを考えさせる題材を扱うことで、自らの個性を確立し社会について広く深い理解と健全な批判力を養えるように配慮した。
- (3) 本文の各Partにリスニング問題、内容理解問題、発話させたり書かせたりする設問を配置することによって、英語の4技能をバランスよく学ぶことができるように配慮した。

- (4) 発展的な学習内容と判断した箇所は「Further Activities」として扱い、通常のLessonとは体裁を変え、語彙リストも別立てとした。
- (5) 親しみやすい教科書にすることを心がけ、写真やイラストを多数挿入し、視覚的にも理解が容易になるようにした。

II. 各課の構成

A. 正課：議論につなげられる読み応えのある題材を10題掲載

1. **Pre-reading Questions:** 写真に関する対話を聴いて、英語の質問に答えるリスニング問題を設けた。

2. **Let's Talk!** 本文に入る前にペアまたはグループで話し合うための質問文を設けた。

3. 本文

- a) 本文中の課末で扱う言語材料を含む文には対応番号を明示した。
- b) 各Partに、本文の内容を自分の言葉で説明する活動 (**Say It in Your Own Words**) を設けた。

Say It in Your Own Words

KEYWORDS & PHRASES: how much respect own country pride

» Explain the survey *The Economist* carried out.

15 The survey _____

- c) 各Partに、内容理解を確認するための**Listening Quiz, CQ (Comprehension Quiz)** を設けた。

Listening Quiz 1. _____ 2. _____

CQ1 What was Japan's ranking in the survey that appeared in *The Economist*?

CQ2 How do many people outside Japan see the country?

4. 課末：本文の内容確認と言語材料の習得

- a) 図式化された**Route Map**, 要約文の**Summary**で本文全体の概要をつかむ。
- b) **KEY LANGUAGE**で言語材料を確認し、**Drills**で簡単な練習問題を解く。
- c) **EXERCISES**でリスニング、語彙、文法の問題を解き、最後にペアワークを行う。
- d) **FURTHER EXERCISES**で言語材料に関するやや発展的な問題を解き、定着を図る。


5. **Communication Strategies:** 題材に関する会話文を読んで、機能表現を学び、その活用を図る。

Lesson 1

Communication Strategies

▶▶▶ **I can give advice to somebody.**


Koji: What made you come to Japan, Mary?
Mary: Well, I've been interested in Japanese culture for a long time. That's the main reason I came here.
Koji: I'm interested in other cultures, too, but I don't want to live anywhere but Japan. I'm not sure my English is good enough to communicate with people in other countries.
Mary: You should be more confident of yourself. Your English is very good, so why not go abroad?



Your Turn

» Express your thoughts or ideas.
 1. Point out a phrase that gives advice to somebody.
 2. Explain your thoughts about living or studying abroad.

Extra Activity



KEYWORDS & PHRASES:
 Myanmar part-time Mon Myat Thu admire

» Explain this picture.
 She _____

18

- a) 冒頭の囲みでは、**I can give advice to somebody.** のように各課で扱う機能表現を明示した。
- b) 会話文では、その課で扱う機能表現が実際の会話でどのように使われるかを示した。
- c) **Your Turn** では、機能表現を確認した後、題材に関する自分の意見を発表するための設問を設けた。
- d) **Extra Activity** では、本文中で使用された写真等について、自分の言葉で説明する活動を設けた。

B. 補充演習・コラムなど

- 1. **Reading Skills 1-5:** リーディング・スキルの解説ページを2課ごとに掲載。本文をサンプルにしなが
ら、効果的に読むためのスキルを習得できる。
- 2. **Show Your Performance 1-3:** スピーキング、ライティングといった活動を評価するための特集頁。
学期ごとに行えるように配置した。
- 3. **Communication Tips 1-3:** 異文化理解を促すために、知っておきたいことを解説したコラム。

(備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。
 2 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。
 3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。
 ① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。(例：第〇号)
 ② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ(例：〇ページ)を記入する。
 ③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。
 4 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。
 5 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
 6 別紙様式第4-1号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-222	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	コⅡ・340	Revised POLESTAR English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

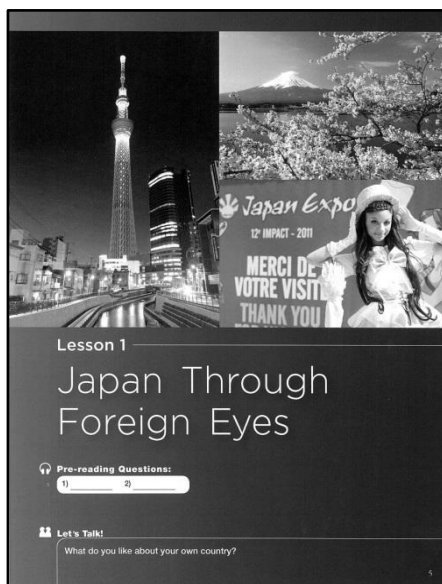
- A.** 本教科書の編集にあたっては、「多様な言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えなどを的確に理解し、英語で自分の考えを適切に伝える能力を伸ばすように配慮する」ことを最大の目標としている。そのために、まず Lesson 1～10 では効果的に英語の文章を読む方法 (Reading Skills) を意識しながら文章を読み、各 Lesson に設定されている表現活動でコミュニケーション活動を行う。
- B.** 本文各 Part には Listening Quiz と Say It in Your Own Words が盛り込まれており、課末では内容把握問題・文法語法確認問題も行い、4 技能を絡めて統合的に学んでいく作りになっている。加えて各 Lesson の最後にある Communication Strategies では、題材に関する会話文を読み、生徒に自分の意見をまとめることを促す活動を行い、自己表現活動につなげている。
- C.** 教育基本法に配慮し、世界の事柄や環境問題に広く目を向けると同時に、日本の文化や伝統にも造詣を深められるように、バラエティに富んだ題材をバランスよく選んでいる。

II. 教科書の構成

A. 本課

1. 導入

①



②

③

① トビラ：題材への興味を喚起する写真

② Pre-reading Questions：

写真に関する対話文を聴いて、質問に答える

③ Let's Talk!：

本文に入る前にペアまたはグループで話し合うための質問文

2. 本文

①

②

The screenshot shows Lesson 1 of the textbook 'Japan Through Foreign Eyes'. It includes an introductory text about a survey in 'The Economist' magazine, a photograph of tourists at Sensoji Temple, and a 'Say It in Your Own Words' exercise. The text discusses how many people outside Japan have a better view of the country, mentioning the BBC's survey and Japan's ranking. The exercise asks students to explain the survey and answer listening quiz questions.

③

④

⑤

- ① 導入文：題材にスムーズに入っていけるように、各 Lesson 本文の前に導入文を掲載した。
- ② 本文：本文中に課末で解説している言語材料やリーディング・スキルのポイントが登場する箇所については、対応番号や頁数を明示。また、新出語は参照しやすいように本文の横に側注を設けて示した。
- ③ 脚注：重要表現や言語材料に関する例文を、脚注に示した。
- ④ Say It in Your Own Words：本文に書かれていることを、「自分の言葉で説明する」ための設問を各 Part に設けた。
- ⑤ Listening Quiz, CQ (Comprehension Quiz)：本文の内容を確認するためのリスニング問題(True or False)と英問英答問題を設けた。

3. 課末

①

The screenshot shows the end-of-lesson activities for Lesson 1. It includes a 'Route Map' exercise where students complete an outline of the lesson's content, a 'Summary' exercise where they fill in blanks with suitable words, and a 'KEY LANGUAGE' section with various drills (KL1, KL2, KL3) focusing on grammar and vocabulary.

③

②

- ① Route Map：図式化された本文のまとめを完成し、概要をつかむ。
- ② Summary：キーワードを書き込むことによって、英文の本文要約文を完成させる。
- ③ KEY LANGUAGE：本文で学んだ言語材料を確認し、Drills で簡単な練習問題を解く。

Lesson 1 Japan Through Foreign Eyes

EXERCISES

④ 1 Listen to the statements and answer the questions.
1. _____ 2. _____ 3. _____

2 Choose the correct explanation for each word.
1. valuable () a. to desire to have the same thing that someone else has
2. lack () b. moving stairs that carry people
3. escalator () c. very helpful or useful
4. envy () d. to be without or in need of

3 Put the words in the correct order.
1. その本は世界中の多くの人々に読まれたようだ。
The book seems (read / have / by / to / been) many people around the world.
2. 彼女は筆記試験に合格したに違いない。
She (have / must / the / passed / written) exam.
3. 大勢の前で笑われたくない。
I don't want (sit / in / to / laughed / be) front of many people.
4. 私たちは以前どこかで会ったことがあるかもしれません。
We (met / may / somewhere / have / each other) before.

4 Fill each blank with a suitable word. Then continue the conversation with your partner.
A: How was your stay in Korea?
B: Oh, I really enjoyed it. Korea and Japan have different cultures, but as () () I'm (), there are many similarities as well. [私に書かせれば]
Have you been there yourself?
A: _____
B: _____

FURTHER EXERCISES

⑤ 1 Think of a word suitable for the definition that follows, using the letter in () as the first letter of the word.
1. (p) = the highest point
2. (a) = a piece of writing in a book, magazine, or newspaper
3. (p) = showing good manners or respect for other people
4. (g) = a standard that people hope to achieve

2 Choose the best answer to complete the sentences below.
1. He is said to () many restaurants.
a. be owned b. have owned c. have had owned d. owning
2. I am delighted to () the prize.
a. giving b. have given by c. be given d. be giving to
3. It's started raining and I'm getting wet. I () my umbrella.
a. have been brought b. should brought
c. have brought d. should have brought
4. Please call me ahead () time when you come to my office.
a. of b. on c. off d. for

3 Complete the following English sentences.
1. 自国の文化に誇りを持つことは大切だ。
It is important _____
2. 一度決めたら、計画を実行したい。
Once I make up my mind, _____
3. 私は日本に住んではいしたが、その夏は国外にいた。(did)
I _____ but I was out of the country during that summer.
4. 顔に出て海辺を散歩ははどうですか。
Why don't you _____ and visit the coast?

4 Translate the following Japanese into English.
1. 彼は静かな人で、自分の気持ちを言わないことがよくある。(keep one's feelings to oneself)

2. 日本人は間違えることを恐れる傾向がある。(tend to do)

④ EXERCISES : リスニング, 語彙, 文法の問題を解き, 最後に会話文の続きを考えるペアワークを行う。

⑤ FURTHER EXERCISES : 言語材料に関するやや発展的な問題を解き, 理解と定着を図る。

4. Communication Strategies

Lesson 1

Communication Strategies

▶▶▶ I can give advice to somebody.

Koji: What made you come to Japan, Mary?
Mary: Well, I've been interested in Japanese culture for a long time. That's the main reason I came here.
Koji: I'm interested in other cultures, too, but I don't want to live anywhere but Japan. I'm not sure my English is good enough to communicate with people in other countries.
Mary: You should be more confident of yourself. Your English is very good, so why not go abroad?

Your Turn

▶ Express your thoughts or ideas.
1. Point out a phrase that gives advice to somebody.
2. Explain your thoughts about living or studying abroad.

Extra Activity

KEYWORDS & PHRASES:
Myanmar part-time Mon Myat Thu admire

▶ Explain this picture.
She _____

①

②

③

④

① **Communication Strategies** : 各課に I can ... で示した Strategy を設定。機能表現を体系的に学ぶ。

② **会話文** : 本文の内容に関連した会話文。Strategy の表現が盛り込まれており, 題材について考えることを促す内容。

③ **Your Turn** : Strategy の表現を確認した後, 題材に関する自分の考えを述べる活動につなげる。

④ **Extra Activity** : 本文中で使用された写真について, 自分の言葉で説明する活動。

B. その他の構成要素

1. **Reading Skills 1-5**: リーディング・スキルの解説ページを2課ごとに掲載。本文をサンプルにしながら, 効果的に読むためのスキルを習得する。

2. **Show Your Performance 1-3**:スピーキング, ライティングといった活動を評価するための特集頁。学期ごとに行えるように配置した。

3. **Communication Tips 1-3**: 異文化理解のために, 知っておきたいことを解説したコラム。

4. **Optional Lesson, Reading, Real-World English 1-3**: 多彩な内容の補足の読み物。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し Topics from All Around the World 後見返し English Quotes	<内容> (1)・イ説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	前見返し I・II 後見返し III・IV	1
Lesson 1～10 Reading Skills 1～5	<内容> (1)・ア事物に関する紹介や報告, 対話や討論などを聞いて, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。 (1)・イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (1)・ウ 聞いたたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。 (1)・エ 聞いたたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, まとまりのある文章を書く。 (2)・ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたたり話したりすること。 (2)・イ 論点や根拠などを明確にするとともに, 文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。 (2)・ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたたり読んだりすること。 (2)・エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。 <内容の取り扱い> (1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ, 聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら, 四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。 (2) 生徒の実態に応じて, 多様な場面における言語活動を体験させながら, 中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。 <〔言語の使用場面の例〕の取扱い> a 特有の表現がよく使われる場面 ・買い物・旅行・食事・電話での応答 / 手紙や電子メールのやり取りなど b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 ・家庭での生活 / 学校での学習や活動 / 地域での活動 / 職場での活動など	各レッスン Pre-reading Questions 各レッスン本文, Route Map, Summary 各レッスン Let's Talk!, Say It in Your Own Words, Your Turn 各レッスン Say It in Your Own Words, Your Turn, Extra Activity 各レッスン Pre-reading Questions, Say It in Your Own Words, Listening Quiz, EXERCISES①, Your Turn Reading Skills 1 (33 頁), Reading Skills 2 (63 頁), Reading Skills 3 (93 頁), Reading Skills 4 (123 頁), Reading Skills 5 (153 頁) 各レッスン本文 各レッスンの Say It in Your Own Words 各レッスン Let's Talk, Pre-reading Questions, Say It in Your Own Words, Listening Quiz, Your Turn 各レッスンの KEY LANGUAGE 48 頁 18, 32, 78, 92, 108, 122, 138, 152 頁	75

	<p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、新聞、雑誌などを読むこと/ 情報通信ネットワークを活用し情報を得ること <p><〔言語の働きの例〕の取扱い></p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相づちを打つ / 聞き直す / 繰り返す / 言い換える / 話題を発展させる など <p>b 気持ちを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褒める / 謝る / 感謝する / 心配する / 望む / 驚く / 心配する など <p>c 情報を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明する / 報告する / 描写する / 理由を述べる / 要約する / 訂正する など <p>d 考えや意図を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し出る / 賛成する / 反対する / 主張する / 推論する / 仮定する など <p>e 相手の行動を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依頼する / 誘う / 許可する / 助言する / 命令する / 注意を引く など <p><文法事項></p> <p>(r) 不定詞の用法</p> <p>(i) 関係代名詞の用法</p> <p>(j) 関係副詞の用法</p> <p>(k) 助動詞の用法</p> <p>(l) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p> <p>(h) 動詞の時制など</p> <p>(s) 仮定法</p> <p>(g) 分詞構文</p>	<p>Lesson 1 (6-7 頁), 各レッスン Let's Talk!</p> <p>各レッスン Communication Strategies の会話文</p> <p>Communication Strategies (48, 62, 122, 頁)</p> <p>各レッスン Say It in Your Own Words</p> <p>Communication Strategies (78, 92, 152 頁)</p> <p>各レッスン Communication Strategies の Your Turn</p> <p>Communication Strategies (18, 32, 108, 138 頁)</p> <p>Lesson 1 (15 頁), Lesson 5 (75 頁), Lesson 8 (119 頁)</p> <p>Lesson 2 (29 頁), Lesson 3 (45 頁), Lesson 4 (59 頁), Lesson 5 (75 頁), Lesson 6 (89 頁), Lesson 8 (119 頁), Lesson 10 (149 頁)</p> <p>Lesson 3 (45 頁), Lesson 6 (89 頁)</p> <p>Lesson 1 (15 頁)</p> <p>Lesson 2 (29 頁)</p> <p>Lesson 3 (45 頁), Lesson 4 (59 頁)</p> <p>Lesson 7 (105 頁), Lesson 8 (119 頁), Lesson 9 (135 頁)</p> <p>Lesson 4 (59 頁), Lesson 9 (135 頁), Lesson 10 (149 頁)</p>	
Show Your Performance 1~3	<p><内容></p> <p>(2)・ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>(2)・イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p>	64, 124, 155頁	6
Optional Lesson Reading Real-World English 1~3	<p><内容></p> <p>(1)・イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p>	156~179頁	17
Sound Square	<p><内容></p> <p>(2)・ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>	180~185頁	4
計			103

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-222	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	コⅡ・340	Revised POLESTAR English Communication II		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
174～179	Further Activities: Real-World English 1～3	1	第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 2 ア (ア) a 「コミュニケーション英語Ⅰ」にあつては、中学校で学習した語に400語程度の新語を加えた語 b 「コミュニケーション英語Ⅱ」にあつては、aに示す語に700語程度の新語を加えた語	6
合 計				6

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。
- 2 「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容……1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容……2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0.25ページ以下…0.25ページ
 - ・ 0.25ページを超えて0.5ページ以下…0.5ページ
 - ・ 0.5ページを超えて0.75ページ以下…0.75ページ
 - ・ 0.75ページを超えて1ページ以下…1ページ
- 7 別紙様式第4-3号の分量は2ページ以内とする。